

2025 年 11 月 17 日

各 位

会 社 名 K u d a n 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 項 大 雨
(コード番号 4425 東証グロース)
問 合 せ 先 管 理 部 長 石 井 達 裕
(T E L . 0 3 - 6 8 9 2 - 7 3 3 3)

2026 年 3 月期第 2 四半期決算説明に関する質疑応答内容の公開のお知らせ

当社は、2025 年 11 月 14 日、投資家・アナリスト向け決算説明会を開催いたしました。投資家の皆様にタイムリーに情報を開示するべく、質疑応答内容を本リリースにテキストにて公開いたします。また、決算説明動画や決算説明スクリプト URL を以下に再掲しておりますので、あわせてご確認いただきますようお願い申し上げます。

【2026 年 3 月期第 2 四半期 機関投資家・アナリスト向け決算説明会】

1. 開催日時：2025 年 11 月 14 日（金）
2. 説明者：代表取締役 CEO 項 大雨
管理部長 石井 達裕

▼▼決算説明動画はこちらからご確認ください▼▼

<https://youtu.be/nYs5o40xH4E>

▼▼決算説明スクリプトはこちらからご確認ください▼▼

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS02977/d7a23da6/72e6/49b2/89b8/3fadf93fc0dd/140120251108592858.pdf>

▼▼決算説明資料はこちらからご確認ください▼▼

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS02977/5abf7d92/992f/47a4/a37b/ae4722ea02cb/140120251108592855.pdf>

【質疑応答内容】

1. 決算説明資料 P6 で、期末時点の赤字が通期の赤字よりも大幅に縮小されるロジックをもう少し詳しく教えてください。

今期中に収益性の改善策を完了し、その効果は来期に発現する予定となります。すなわち、改善された今期末の状況が来期の基準となり、その試算を期末の収益性としております。

この期末の収益性は、来期には引き継がれる改善効果を反映する一方、当期のみに発生する一過性の費用は考慮していないため、通期の赤字よりも大きく改善されております。

2. 決算説明資料 P6 で、コスト低減の遅延によって、通期利益の上方修正が限定的とあるが、なぜ遅延が起きたのか、これ以上の遅延がないようどのように対応しているのか教えてください。

業績見通しの上方修正に至ったように、当初想定よりも事業が伸びております。想定以上の事業の伸びに合わせて、コスト低減の計画も修正する必要がありました。

現在、コスト低減の計画は修正済であり、具体的な施策も大半が実行が進んでおり、現時点ではこれ以上の遅延の懸念は認識しておりません。

3. 固定費を期末に 9.5 億円程度まで落とした後も、さらに削減余地があるのでしょうか。また、そうした前提において、営業黒字化が見込める通期売上規模をどの程度と見ているか教えてください。

固定費の削減については、当期末で完了する計画でございます。現時点で追加的な削減は想定しておりません。また、黒字化のタイミングとその売上規模については計画を精査中であり、見通しが固まり次第、適切なタイミングで開示いたします。

4. 現在の手元現金水準と想定されている月次のキャッシュアウトを前提に、追加の資金調達を行わずに事業を継続できる期間をどの程度と見ているのでしょうか。また、中期の成長投資を踏まえた追加資金調達の必要性和タイミングについて、現時点でのお考えを伺えますでしょうか。

現状の資金水準で、追加の資金調達をせずとも黒字化を達成できる見込みと考えております。成長投資については現時点で開示できる案件はございませんが、開示すべきものについては然るべきタイミングで開示いたします。現時点では追加の資金調達の必要性は特段認識しておりません。

5. 収益構造として、ソフトウェア(SW)ライセンス/ソリューション・ハードウェア(HW)の比率を、いつの時点でどれくらいにしたいと考えておられるのか、ターゲット像を教えてください。

SW ライセンスとソリューションは、基本的に一括りのカテゴリーと考えております。アルゴリズムであってもソリューションであっても、基本的には何らかの SW ライセンスの形で収益を立てていくためです。したがって、大きな括りとしては、「SW」と「HW と SW を組み込んだ HW パッケージ」の二つになります。足元では HW パッケージの売上が短期的に拡大しております。これは、SW の評価やソリューション開発の検討において、まずは HW をお客様に購入いただいて進めていくという状況に関連しているため、HW パッケージの方が SW よりも立ち上がりが早いという状況が生じております。

長期的には SW 事業の方が成長性が高いと認識しており、SW を中心とする成長を基本方針として目指しております。

※決算説明の内容に関するご質問につきましては、下記の問い合わせ先にて頂戴いたします。
また、ご希望の会社様には、個別取材も承りますので、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

■会社概要

会 社 名：K u d a n 株式会社

証券コード：4425

代 表 者：代表取締役 CEO 項 大雨

■お問い合わせ先は[こちら](#)